

SpaceXAI 「Grok 4.6」 徹底解剖：圧倒的な価格性能比と導入の留意点

2026年8月に発表された「Grok 4.6」は、長時間駆動するAIエージェントやソフトウェア開発、知識労働に特化したフロンティアモデルです。
GPT-5.6 Solに匹敵する知能を低価格で提供する一方、特定の性能指標の悪化や契約上の制約といった実務的な課題も抱えています。

性能と技術的特徴



知能指数「61」で
GPT-5.6 Solに並ぶ

独立評価機関のIntelligence Index
で世界トップクラスの性能を実証。



長時間エージェント
処理に特化

知識労働やR&D、複雑なコード作
成など、多段階のタスク遂行を
重点強化。



知識労働やR&D、複雑なコード作
成など、多段階のタスク遂行を重
点強化。



コスト構造と導入リスク



競合の1/5となる
圧倒的な出力単価

標準出力単価\$6/Mで、GPT-5.6
Sol (\$30) より大幅に安価。



20万トークンの
価格倍増境界

20万トークンを超えると単価が2倍
になるため、TCO計算に注意が必要。

	Grok 4.6	GPT-5.6 Sol	Fable 5
Intelligence Index	61	61	62
出力単価 (3/1Mトークン)	\$6	\$30	\$25
幻覚率 (借りほど良)	1.7%	1.1% (GPT-5.5)	3.4% (Opus 4.8)



幻覚率の悪化と
ベンチマーク禁止条項

1.7%

幻覚率が1.7%へ上昇し、契約上、
無許可の性能比較は禁止されている。